

# いじめ防止対策と今後の 教育行政の在り方は



## 問

全国の教育現場や父  
母・教育関係者を震  
撼させた「いじめ」による

こどもの自殺が、学校と教  
育委員会のもたれ合いの構  
造にあるとして厳しく糾弾  
され、大きな社会問題とな  
っている。本町においても、  
これらの問題を単に「対岸  
の火事」とせず、喫緊の課  
題として厳しく捉え対応す  
べきと考えるが如何か。

また、本町では、毎月19  
日を「まくべつ教育の日」  
と定めているが、以下の項  
目についても伺う。  
① 「まくべつ教育の日」の  
定着。

② 「幕別町教育の日憲章」  
の具現化。

③ 地域子ども会の充実と父  
母の支援。

④ 学校現場と教育委員会の  
連携。

⑤ 教職員の多忙解消と健康  
管理。

⑥ 少人数学級の実現。

⑦ 教育予算の拡充等々につ  
いて。

## 教育長

学校現場では、

観察、見守りによるいじめ  
の早期発見に努め、常に教  
師の毅然とした態度を生徒  
に示し、あるいは校内にお  
ける支援体制を強化したい。

教育委員会としては、学  
校との連携や相談体制の強  
化を図り、その手段を周知  
し、併せて、アンケートな  
どで実態も調査もしたい。

① 学校では「地域参観日」  
など設定し、地域の目で学  
校を見守ることや、学校行  
事を19日にあわせて開催し  
ている。

② 憲章は、子供たち、ある  
いは学校教育のみならず、  
家庭、地域における総合的  
な最終目標にする思いで事  
業を進めたい。

③ 地域子ども会の活動を側  
面から支援するため、教育  
委員会も調整役として連携  
を強化したい。

④ 学校現場と教育委員会の  
連携、相談体制の強化を図  
りたい。

⑤ 教育の日を中心に、教職  
員のノー残業デーを設定し、  
健康管理に努めてもらい、  
一人家庭人として家庭の教育  
力に力量を発揮していただ  
く日としたい。

⑥ 「ゆとりいきいきパート  
ナー事業」により教育活動  
指導助手を配置し、小学校  
の新1年生の30人以上の学

# パークゴルフ場の運用と 今後の方向性について



(パークゴルフ場〈サーモンコース〉)

級について、少人数学級を  
平成13年度から実施してい  
る。また、小学校1・2年  
生は平成17年度から、中学  
校1年生は平成18年度から  
道費による教員の加配で35  
人学級を実現している。

考えるが如何か。  
また、利用頻度の低いコ  
ースや特色を生かしたコー  
ス(エルムコース)の位置  
づけについての考えについ  
て伺う。

## 問

本町には、  
大小13のパ  
ークゴルフ場があ  
り、三世代交流の  
コミュニティスポ  
ーツとして多くの  
町民に愛好され、  
高齢者の健康づく  
りにも大きく貢献  
している。しかし、  
その管理運営には  
多額な予算を注入  
しており、財政難  
の折り、今後の運  
用のあり方につい  
て一考を要すると

## 町長

パークゴルフ場の  
有料化は、管内では半数近  
くの町村で実施しているが、  
パークゴルフの持つ効果、  
発祥の地としての本町の責  
務、パークゴルフ場が公園  
の一部であること、管理人  
の配置などの費用対効果な  
ど、様々な視点から検討が  
必要であり、慎重に検討す  
べき課題として認識してい  
る。

特徴を生かしたコース設  
定については、パークゴル  
フの原点は、三世代交流の  
コミュニティスポーツであ  
り、特定の年齢層を対象と  
した意図的なコースを設定  
することは考えていないが、  
特徴を生かしたコースに設  
定したい。  
利用者や関係団体から広  
く意見を聞き、既存の条件  
を生かし、利用しやすいコ  
ースづくりをしたい。